



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月13日

上場会社名 三光産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理担当 (氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,652	4.1	△47	—	14	△80.6	△11	—
30年3月期第2四半期	5,432	23.4	24	—	75	—	71	△39.0

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 21百万円 (△79.8%) 30年3月期第2四半期 105百万円 (592.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△1.84	—
30年3月期第2四半期	11.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,955	8,683	72.6
30年3月期	12,135	8,724	71.9

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 8,683百万円 30年3月期 8,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	△10.0	100	△46.6	130	△47.1	90	△64.4	14.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	7,378,800 株	30年3月期	7,378,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	1,185,857 株	30年3月期	1,185,857 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	6,192,943 株	30年3月期2Q	6,193,009 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用・所得環境の改善など緩やかな景気回復が続きましたが、米国と中国との貿易摩擦の激化による影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、印刷業界においては、印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）初年度にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、タッチパネル関連製品等の受注増により5,652百万円（前年同期比104.1%）と増収となりました。

しかしながら利益面につきましては、内製化の促進、歩留率の改善等の効率化によるコスト低減に努めましたが、人件費等の販売費及び一般管理費の増加により営業損失は47百万円（前年同期は24百万円の営業利益）となり、為替差益及び受取配当金等の計上により経常利益は14百万円（前年同期比19.4%）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11百万円（前年同期は71百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

タッチパネル関連製品の幅広い営業展開と、一般シール・ラベル等の受注確保のため既存取引先の深耕のほか食品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善及び内製化による効率化を重点的に進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,296百万円（前年同期比121.8%）となり、セグメント利益は19百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

② 中国

日本国内のグローバル営業部との連携強化により、既存得意先及び新規得意先への受注強化を積極的に行うとともに、製造面については生産効率の改善を推進してまいりました。

しかしながらタッチパネル製品等の受注減により、当第2四半期連結累計期間の売上高は963百万円（前年同期比59.6%）となり、減収による工場操業度の低下等によりセグメント損失は78百万円（前年同期は86百万円のセグメント利益）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントにおいては、本年2月に設立したサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD.については本格営業に至っておりませんが、サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. 及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、受注の増加及び製造工程の改善等を図り、業績は回復基調で推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は392百万円（前年同期比136.2%）となり、セグメント利益は11百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,955百万円となり、前連結会計年度末比179百万円減少いたしました。これは、主に、現金及び預金は389百万円並びに商品及び製品等のたな卸資産は92百万円増加いたしました。受取手形及び売掛金が697百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,272百万円となり、前連結会計年度末比138百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が182百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は8,683百万円となり、前連結会計年度末比40百万円減少いたしました。これは、主に親会社による配当金の支払等により利益剰余金が73百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は72.6%（前連結会計年度末は71.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少等の資金の増加要因により、3,446百万円（前年同期比364百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、たな卸資産の増加額100百万円、仕入債務の減少額153百万円等の資金の減少要因はありましたが、税金等調整前四半期純利益14百万円、売上債権の減少額669百万円等の資金の増加要因により442百万円（前年同期比331百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、保険積立金の解約による収入51百万円等の資金の増加要因により、42百万円（前年同期比57百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額62百万円等により67百万円（前年同期比109百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で変更はありません。なお、業績に与える諸要素を精査し、修正が必要となった場合には遅滞なく公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,073,979	3,463,417
受取手形及び売掛金	4,429,667	3,731,870
商品及び製品	331,912	350,336
仕掛品	134,671	223,783
原材料及び貯蔵品	186,994	172,057
その他	84,022	92,113
貸倒引当金	△2,600	△2,353
流動資産合計	8,238,648	8,031,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,784,559	2,772,599
減価償却累計額	△1,871,833	△1,890,922
建物及び構築物（純額）	912,725	881,677
機械装置及び運搬具	2,824,561	2,857,171
減価償却累計額	△2,331,245	△2,346,733
機械装置及び運搬具（純額）	493,316	510,438
工具、器具及び備品	223,439	225,617
減価償却累計額	△183,513	△187,148
工具、器具及び備品（純額）	39,925	38,469
土地	1,284,779	1,283,831
リース資産	53,332	59,574
減価償却累計額	△17,182	△21,187
リース資産（純額）	36,149	38,386
建設仮勘定	218	—
有形固定資産合計	2,767,115	2,752,803
無形固定資産		
ソフトウェア	4,994	8,204
無形固定資産合計	4,994	8,204
投資その他の資産		
その他	1,174,307	1,205,240
貸倒引当金	△50,040	△41,650
投資その他の資産合計	1,124,267	1,163,589
固定資産合計	3,896,377	3,924,597
資産合計	12,135,025	11,955,822

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,679,721	2,497,307
未払法人税等	1,368	43,097
賞与引当金	109,385	116,114
その他	277,143	257,198
流動負債合計	3,067,618	2,913,718
固定負債		
長期未払金	853	853
退職給付に係る負債	245,912	235,525
その他	96,526	122,117
固定負債合計	343,292	358,496
負債合計	3,410,911	3,272,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	5,219,960	5,146,598
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	8,334,795	8,261,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,030	446,786
為替換算調整勘定	11,287	△24,611
その他の包括利益累計額合計	389,317	422,174
純資産合計	8,724,113	8,683,607
負債純資産合計	12,135,025	11,955,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,432,305	5,652,936
売上原価	4,468,720	4,717,891
売上総利益	963,584	935,044
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	384,959	400,390
賞与引当金繰入額	72,810	74,480
退職給付費用	22,873	23,050
福利厚生費	88,167	93,477
その他	369,926	391,618
販売費及び一般管理費合計	938,737	983,018
営業利益又は営業損失(△)	24,847	△47,973
営業外収益		
受取利息	1,212	1,293
受取配当金	12,264	14,425
為替差益	13,930	34,566
貸倒引当金戻入額	8,362	8,636
その他	14,817	9,584
営業外収益合計	50,588	68,506
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	271	271
保険解約損	-	2,350
環境対策費	-	3,332
その他	0	4
営業外費用合計	272	5,959
経常利益	75,163	14,573
特別利益		
固定資産売却益	2,379	18
特別利益合計	2,379	18
特別損失		
固定資産処分損	547	0
特別損失合計	547	0
税金等調整前四半期純利益	76,995	14,591
法人税、住民税及び事業税	4,000	26,626
法人税等調整額	2,596	△601
法人税等合計	6,596	26,024
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,399	△11,432
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△851	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71,250	△11,432

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,399	△11,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,543	68,755
為替換算調整勘定	△21,088	△35,899
その他の包括利益合計	35,455	32,856
四半期包括利益	105,854	21,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,975	21,423
非支配株主に係る四半期包括利益	△121	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	76,995	14,591
減価償却費	74,900	79,292
役員退職慰労未払金の増減額 (△は減少)	△32,550	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,719	△10,387
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,672	7,075
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,482	△8,636
受取利息及び受取配当金	△13,476	△15,719
保険解約損益 (△は益)	-	2,350
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,832	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	△271,902	669,594
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,939	△100,981
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10,080	10,362
仕入債務の増減額 (△は減少)	389,136	△153,992
未払金の増減額 (△は減少)	12,487	△11,148
その他	△38,197	△66,208
小計	130,667	416,174
利息及び配当金の受取額	13,476	15,719
保険金の受取額	6,000	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△38,284	11,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,859	442,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,688	△17,180
有形固定資産の売却による収入	2,127	18
投資有価証券の取得による支出	△4,038	△4,714
保険積立金の解約による収入	102,985	51,910
その他	61,348	12,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,733	42,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△41,880	△62,883
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△129,800	-
その他	△4,654	△4,325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,335	△67,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,903	△28,760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,353	389,777
現金及び現金同等物の期首残高	3,061,360	3,057,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,082,713	3,446,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、非連結子会社でありましたサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. の重要性が増したため当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産のその他に含めて表示し、繰延税金負債は固定負債のその他に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,527,164	1,616,946	288,194	5,432,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	271,674	61,923	4,303	337,901
計	3,798,839	1,678,870	292,497	5,770,206
セグメント利益又は損失（△）	△33,743	86,369	△21,333	31,293

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,293
セグメント間取引消去	△6,445
四半期連結損益計算書の営業利益	24,847

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,296,706	963,683	392,547	5,652,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	243,273	541,802	4,164	789,240
計	4,539,979	1,505,486	396,711	6,442,177
セグメント利益又は損失(△)	19,844	△78,451	11,642	△46,963

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△46,963
セグメント間取引消去	△1,010
四半期連結損益計算書の営業損失	△47,973

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。